

令和2年度 生物 部の指導方針等と実績について

1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	清水 今日子		
副顧問	鶴岡 瞳		
副顧問	木村 礼美		
副顧問			

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	東京都が実施する研究発表会に参加するとともに、科学の甲子園東京都大会への出場や、各種科学コンテスト等へ参加する。
(3) 地域貢献等の特色ある目標	東京海洋大学と連携した研究活動を行う。

3 指導方針

(1) 技術や技能, 体力の向上	原則週3日平日2時間ミーティングや水槽の掃除などの活動を行う。長期休暇中に博物館などで課外活動を行う。昼休みに生物のエサやりを当番制で行う。
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	東京都が実施する研究発表会に参加するほか、科学の甲子園東京都大会などのコンテスト等へ積極的に参加させる。
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	東洋海洋大学と連携した研究活動。 東京都立八丈高等学校との連携。
(4) 部加入率の維持、増加	学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導	体罰関連行為のガイドラインを確認し、過ぎた指導のない部活動を展開していく。顧問、生徒、保護者で体罰や暴言のない指導について共通理解を図る。
(2) 生徒間の暴力禁止	生徒間で暴力・暴言がないよう日頃から指導を徹底する。
(3) 外部指導員の活用	外部指導員は現在委嘱していない。
(4) 事故防止・安全配慮	カメに噛みつかれないよう水槽掃除の際はゴム手袋を着用する。

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	新入生歓迎会（活動方針提示） 今年度の研究内容の決定 研究活動
	5	
	6	
	7	
2 学 期	8	研究活動 研究活動 研究活動 研究活動
	9	
	10	
	11	
3 学 期	12	研究活動 研究活動 1年間の総括発表
	1	
	2	
	3	

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動 場所	生物室		生物室		生物室		

7 公式戦・大会等の実績（令和元年度）

特になし。
